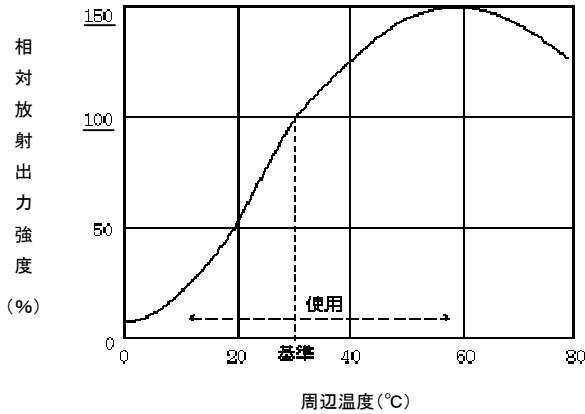
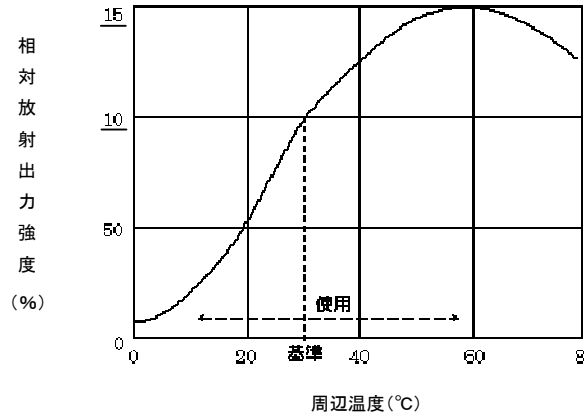


該当ページ	正	誤																																																														
p.144	<p>表 3-7-1 自治体基準器の性能要件</p> <table border="1" data-bbox="331 418 1129 736"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">性能要件</th> </tr> <tr> <th>JIS B 7957(自動計測器)</th> <th>本マニュアル(自動測定機)</th> <th>自治体基準器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 測定レンジ</td> <td>0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジをもつ</td> <td>0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジを持つ^{※1}</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>8 オゾン分解機の効率^{※2}</td> <td>99.5%以上</td> <td>99.5%以上</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>11 干渉成分の影響(水分)^{※2}</td> <td>0.004ppm以下</td> <td>水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>12 干渉成分の影響(トルエン)^{※2}</td> <td>0.004ppm以下</td> <td>トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1) レンジは、0~0.1ppm から 0~5ppm のうちで、適切などころを選ぶ。 ※2) ゼログスをゼロとしている場合は、項目 8、11 及び 12 は、自治体基準器の要件に適用しない。</p>	項目	性能要件			JIS B 7957(自動計測器)	本マニュアル(自動測定機)	自治体基準器	1 測定レンジ	0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジをもつ	0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジを持つ ^{※1}	同左	8 オゾン分解機の効率 ^{※2}	99.5%以上	99.5%以上	同左	11 干渉成分の影響(水分) ^{※2}	0.004ppm以下	水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下	同左	12 干渉成分の影響(トルエン) ^{※2}	0.004ppm以下	トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下	同左	<p>表 3-7-1 自治体基準器の性能要件</p> <table border="1" data-bbox="1163 418 1940 736"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">性能要件</th> </tr> <tr> <th>JIS B 7957(自動計測器)</th> <th>本マニュアル(自動測定機)</th> <th>自治体基準器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 測定レンジ</td> <td>二</td> <td>0~0.1ppm、0~5ppmの範囲で適切に 分割したレンジを持つ</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>8 オゾン分解機の効率</td> <td>99.5%以上</td> <td>99.5%以上</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>11 干渉成分の影響(水分)</td> <td>0.004ppm以下</td> <td>水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>12 干渉成分の影響(トルエン)</td> <td>0.004ppm以下</td> <td>トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	項目	性能要件			JIS B 7957(自動計測器)	本マニュアル(自動測定機)	自治体基準器	1 測定レンジ	二	0~0.1ppm、0~5ppmの範囲で適切に 分割したレンジを持つ	同左	8 オゾン分解機の効率	99.5%以上	99.5%以上	同左	11 干渉成分の影響(水分)	0.004ppm以下	水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下	同左	12 干渉成分の影響(トルエン)	0.004ppm以下	トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下	同左
項目	性能要件																																																															
	JIS B 7957(自動計測器)	本マニュアル(自動測定機)	自治体基準器																																																													
1 測定レンジ	0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジをもつ	0~0.1ppmから0~5ppm このレンジ内で測定目的によって、 適切に分割したレンジを持つ ^{※1}	同左																																																													
...																																																													
8 オゾン分解機の効率 ^{※2}	99.5%以上	99.5%以上	同左																																																													
...																																																													
11 干渉成分の影響(水分) ^{※2}	0.004ppm以下	水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下	同左																																																													
12 干渉成分の影響(トルエン) ^{※2}	0.004ppm以下	トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下	同左																																																													
項目	性能要件																																																															
	JIS B 7957(自動計測器)	本マニュアル(自動測定機)	自治体基準器																																																													
1 測定レンジ	二	0~0.1ppm、0~5ppmの範囲で適切に 分割したレンジを持つ	同左																																																													
...																																																													
8 オゾン分解機の効率	99.5%以上	99.5%以上	同左																																																													
...																																																													
11 干渉成分の影響(水分)	0.004ppm以下	水分(25℃相対湿度80%)の存在下でも 指示値への影響が4ppb以下	同左																																																													
12 干渉成分の影響(トルエン)	0.004ppm以下	トルエン1ppm存在下でも指示値への 影響が4ppb以下	同左																																																													
p.146	<p>α : 253.7nm のオゾン吸収断面積 ($1.1476 \times 10^{-21} \text{m}^2 \text{ molecule}^{-1}$)</p>	<p>α : 253.7nm のオゾン吸収断面積 ($1.1476 \times 10^{-21} \text{m}^2 \text{ molecule}^{-1}$、<u>273.15K、101325Pa</u> の条件下)</p>																																																														
p.147	<p>3) 二次標準器の目盛校正 (省略) 校正作業前に、一次、二次標準器を十分に暖機しておき、次に <u>300~500ppb</u> 程度の高濃度オゾンガスを流し、流路のコンディショニングを行っておく。 (省略)</p> <p>4) 自治体基準器の目盛校正 (二次標準器との校正) (省略) 校正に先立ち、二次標準器、自治体基準器を十分暖機する。校正前に、<u>300~500ppb</u> 程度の濃度のオゾンガスを流路に流しコンディショニングを行う。(省略)</p>	<p>3) 二次標準器の目盛校正 (省略) 校正作業前に、一次、二次標準器を十分に暖機しておき、次に <u>500ppb 以上</u> の高濃度オゾンガスを流し、流路のコンディショニングを行っておく。 (省略)</p> <p>4) 自治体基準器の目盛校正 (二次標準器との校正) (省略) 校正に先立ち、二次標準器、自治体基準器を十分暖機する。校正前に、<u>500ppb 以上</u> の濃度のオゾンガスを流路に流しコンディショニングを行う。 (省略)</p>																																																														
p.148	<p>※参照オゾン計とは、自治体基準器と同等以上の性能要件を有するオゾン計で、自治体基準器と同様に適切に保管したものとす。また、自治体基準器を二次標準器と比較校正した<u>後</u>、自治体基準器とこの参照オゾン計の比較試験を行い、200ppb レベルで±2ppb 以内で一致することを確認する。</p>	<p>※参照オゾン計とは、自治体基準器と同等以上の性能要件を有するオゾン計で、自治体基準器と同様に<u>二次標準器と比較校正を行い、適切に保管したもの</u>とする。また、自治体基準器を二次標準器と比較校正した<u>際</u>、自治体基準器とこの参照オゾン計の比較試験を行い、200ppb レベルで±2ppb 以内で一致することを確認する。</p>																																																														
p.151	<p>α : オゾン吸収断面積 ($1.1476 \times 10^{-21} \text{m}^2 \text{ molecule}^{-1}$)</p>	<p>α : オゾン吸収断面積 ($1.1476 \times 10^{-21} \text{m}^2 \text{ molecular}^{-1}$、<u>273.15K、101325Pa</u>)</p>																																																														
p.154	 <p>図 3-7-7 低圧水銀ランプの温度特性例</p>	 <p>図 3-7-7 低圧水銀ランプの温度特性例</p>																																																														